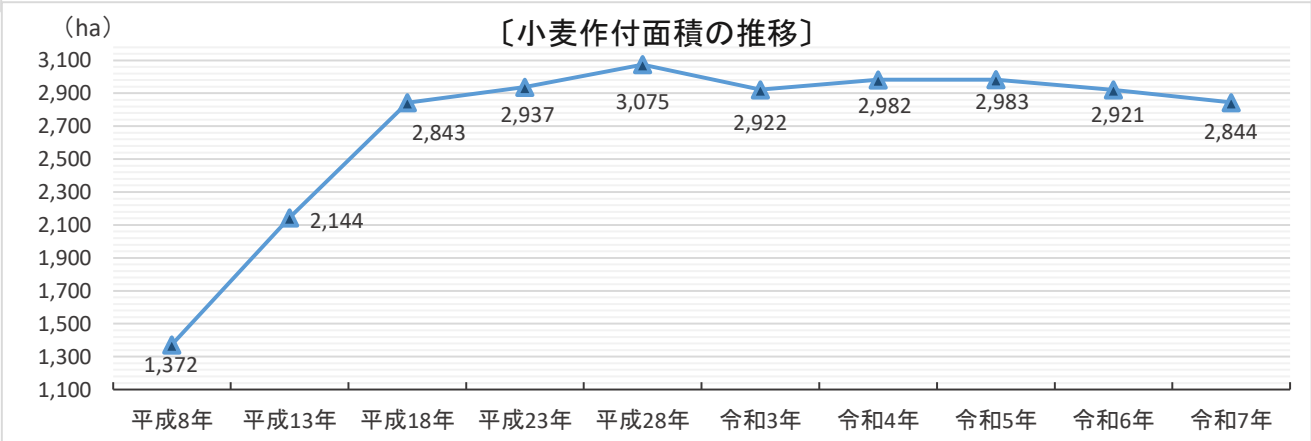
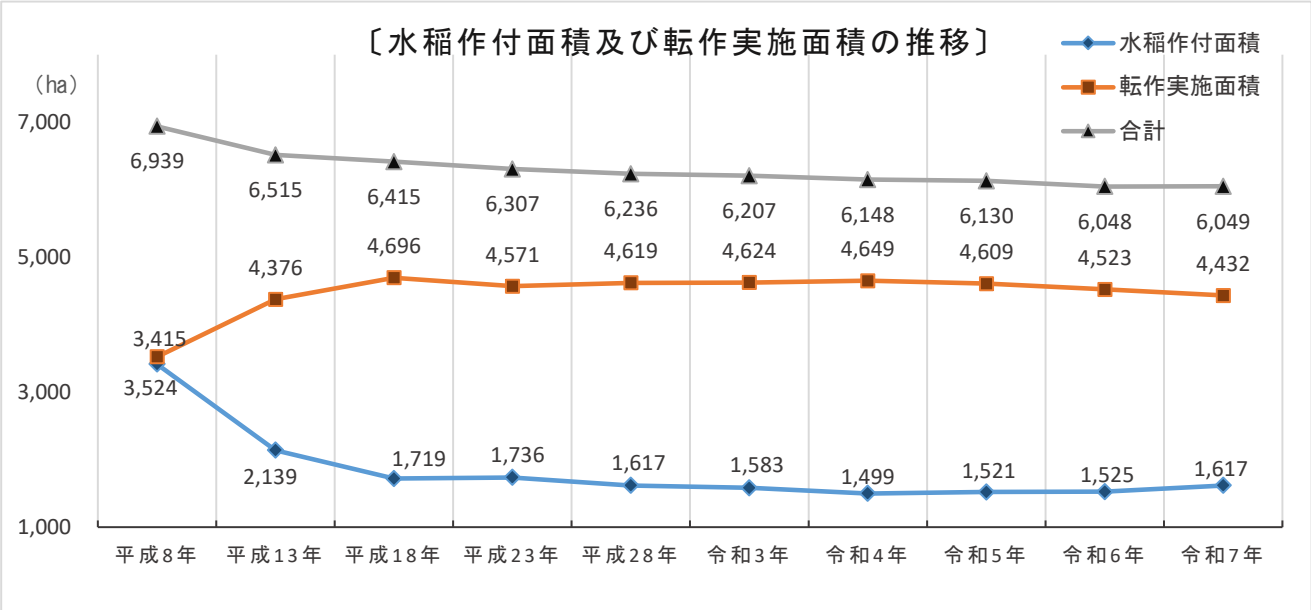


3 水稲作付面積及び転作実施面積

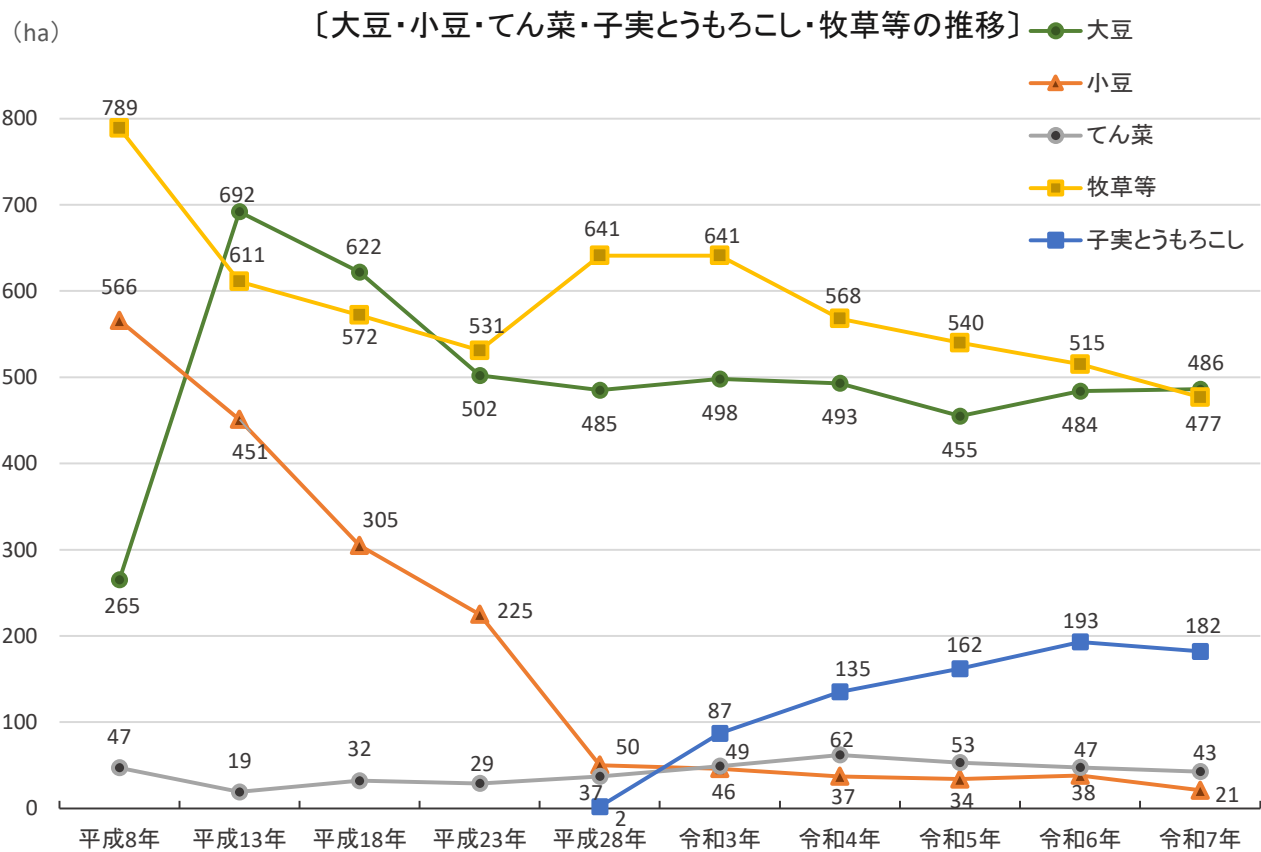
単位:ha

区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳（新規需要米等を除く）								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成8年	3,415	－	3,524	1,372	265	566	47	－	78	789	－	407
平成13年	2,139	－	4,376	2,144	692	451	19	－	73	611	－	386
平成18年	1,719	1,719	4,696	2,843	622	305	32	178	75	572	－	69
平成23年	1,736	1,674	4,571	2,937	502	225	29	229	84	531	－	34
平成28年	1,617	1,556	4,619	3,075	485	50	37	216	72	641	2	40
令和3年	1,583	1,371	4,624	2,922	498	46	49	266	69	641	87	47
令和4年	1,499	1,339	4,649	2,982	493	37	62	266	69	568	135	37
令和5年	1,521	1,318	4,609	2,983	455	34	53	259	72	540	162	50
令和6年	1,525	1,313	4,523	2,921	484	38	47	251	73	515	193	1
令和7年	1,617	1,440	4,432	2,844	486	21	43	260	73	477	182	46

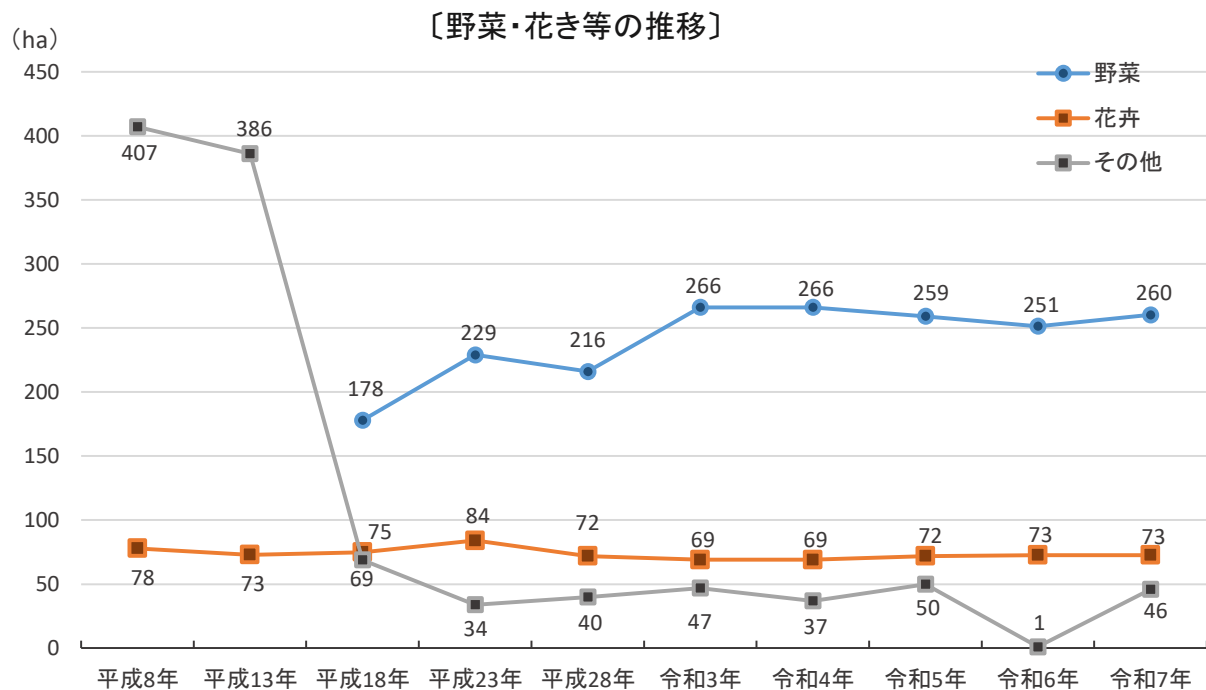
資料:町農務課



水稲作付面積は、令和4年度まで減少傾向で推移していましたが、現在は増加傾向となっています。
 当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、令和2年度から令和5年度まで増加傾向で推移していましたが、令和6年度から減少が続いています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向でしたが、令和7年度は減少しています。
また、大豆は令和元年度以降500ha前後で推移しており、令和5年度で減少しましたが、令和6年度から増加しています。



野菜の作付面積は、令和3年度以降、減少傾向でしたが、令和7年度は増加しています。
花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。